

専門課程シラバス

科目区分	専門分野	単位数・時間数	1単位・30時間	開講時期	2年・前期
授業科目名	母性看護学Ⅱ 周産期にある対象の看護(援助技術)			授業形態	講義・演習
担当教員	松本 祐子		実務経験	○(助産師・看護師)	
授業概要	妊娠・分娩・産褥各期および胎児・新生児の特徴を理解し、健康状態のアセスメントと看護技術について学ぶ。				
学習目的	正常な経過にある母子と家族に対して適切な看護を行うための知識・技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦・産婦・褥婦と新生児のアセスメントができる。 2. 妊婦・産婦・褥婦に必要な看護技術を理解する。 3. 母子看護におけるウェルネス視点での看護過程の展開を理解する。 				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦の健康状態とアセスメント(子宮底長測定・腹囲測定・レオポルド触診法の目的) 2. 3 妊婦の健康状態とアセスメント(子宮底長測定・腹囲測定・レオポルド触診法の演習) 4. 新生児の看護(全身の観察、バイタルサイン測定、身体測定のための目的) 5. 6 新生児の看護(全身の観察、バイタルサイン測定、身体計測の演習) 7. 新生児の看護(沐浴、安全な抱き方・寝かせ方) 8. 9 新生児の看護(沐浴、安全な抱き方・寝かせ方の演習) 10. ウェルネス視点での看護過程の展開(ウェルネスの考え方、ウェルネス看護診断の特徴) 11・12 事例によるウェルネス視点での看護過程の展開 (健康な妊婦・産婦に対する看護過程の展開) 13 事例によるウェルネス視点での看護過程の展開(健康な褥婦に対する看護過程の展開) 14・15事例によるウェルネス視点での看護過程の展開 (新生児に対する子宮外生活への順調な適応を促す看護過程の展開) <p style="text-align: center;">終講試験</p>				
評価方法	授業態度・出席(10%)演習記録(30%)筆記試験(60%)				
教科書	系統看護学講座 専門 母性看護学各論 第14版 医学書院 2025				
参考図書 等	ウェルネス看護診断にもとづく看護過程の展開 医歯薬出版社 母性看護学プレブック 医歯薬出版社				
備考					